

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！



監督：オオタ ヴィン
「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる”ミライの教育ドキュメンタリー”

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向き 令和3年12月20日

2023年6月2日(金)、3日(土) 映画上映会開催
とさ自由学校



「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所で開催された映画「いただきます」オオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね!



小学生が作ったよ!



ナレーション
吉岡秀隆

映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ



あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか？
お申し込みは、まほろばスタジオ▶



堀 真一郎

(きのくに子どもの村学園園長)



茂木 健一郎

(脳科学者)



尾木 直樹

(教育評論家)



西郷 孝彦

(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

6月2日(金)・3日(土)「夢みる小学校」上映会

★会場：とさ自由学校 体育館

高知県吾川郡いの町勝賀瀬4387

★日時：6月2日(金)15:00 開場 15:30 上映
6月3日(土)①12:30 開場 13:00 上映
②15:00 開場 15:30 上映

【特別ゲスト】3日①は上映後のシェア会に「きのくに子どもの村」校長加藤先生がオンライン参加されます。

★入場料金：一般 1,000 円/高校生以下無料

★申込み・お問合せ先

主催 とさ自由学校おとなたち

メールでお申込の場合：

dreamingschool.tosa@gmail.com

お問合せ：とさ自由学校 p-mori@tosajiyu.jp



お申込はこちらから▶

★主催者より★

高知の“夢みる小学校”で上映会をします。

子どもが「楽しい!」と思える教育を、一緒に考えてみませんか?